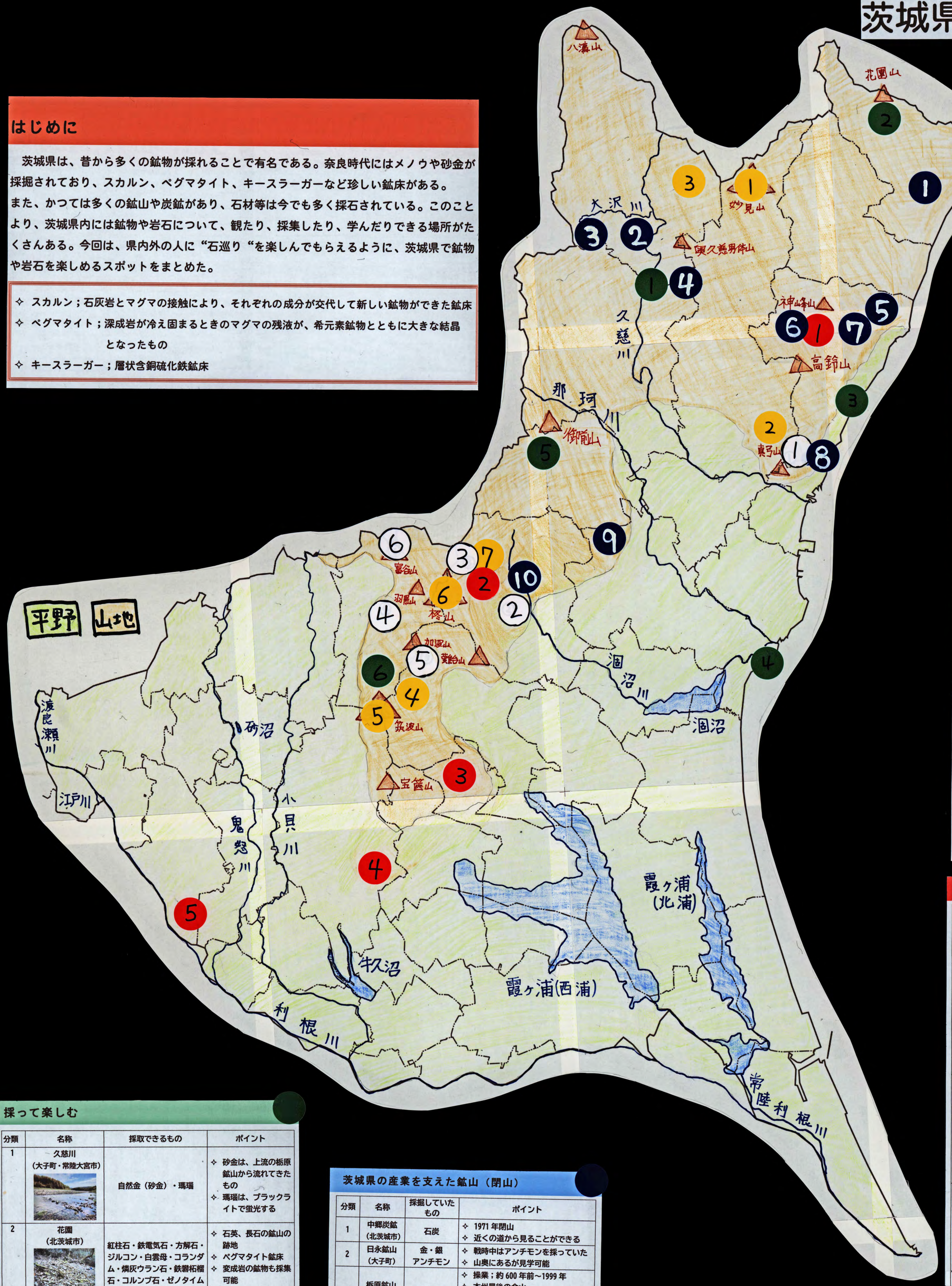
茨城県石巡り観光マップ

茨城県立古河中等教育学校
二年　島本奏汰

はじめに

茨城県は、昔から多くの鉱物が採れることで有名である。奈良時代にはメノウや砂金が採掘されており、スカルン、ペグマタイト、キースラーガーなど珍しい鉱床がある。
また、かつては多くの鉱山や炭鉱があり、石材等は今でも多く採石されている。このことより、茨城県内には鉱物や岩石について、観たり、採集したり、学んだりできる場所がたくさんある。今回は、県内外の人に“石巡り“を楽しんでもらえるように、茨城県で鉱物や岩石を楽しめるスポットをまとめた。

- ✧ スカルン；石灰岩とマグマの接触により、それぞれの成分が交代して新しい鉱物ができた鉱床
- ✧ ペグマタイト；深成岩が冷え固まるときのマグマの残液が、希元素鉱物とともに大きな結晶となったもの
- ✧ キースラーガー；層状含銅硫化鉄鉱床



観て楽しむ

分類	名称	観察できるもの	ポイント
1	妙見山（常陸太田市）	➢ リチウムペグマタイトの露頭に、リチア電気石・緑柱石・リチア輝石・リチア雲母・モンブラ石・白雲母が観察できる	✧ リチウムペグマタイト鉱床 ✧ 常陸太田市の天然記念物 ✧ リチア電気石は茨城県の鉱物に指定されている
2	長谷（常陸太田市）	➢ コートランド岩・滑石・蛇紋石・真珠雲母が観察できる	✧ 滑石の採掘跡 ✧ コートランド岩が観られるのは非常に珍しい
3	袋田の滝（大子町）	➢ 凝灰角礫岩の露頭が観察できる	✧ 日本三名瀑の一つ ✧ 海底火山の活動の痕跡が良く分かる
4	峰寺山（石岡市）	➢ 球状花崗岩の露頭と、その中に含まれる鉄礬柘榴石や菫青石が観察できる	✧ 茨城県の天然記念物 ✧ 球状花崗岩が観られるのは非常に珍しい ✧ 2022 年 8 月現在、見学路に落石があり見学中止中
5	筑波山（つくば市・石岡市・桜川市）	➢ 花崗岩・斑糲岩・斜長岩の露頭が観察できる ➢ 普通角閃石や鉄礬柘榴石も観察できる	✧ 登山道では、弁慶七戻りや出船入船といった奇岩が観察できる
6	柊山（笠間市）	➢ 結晶質石灰岩の露頭に苦灰石・方解石・珪灰石・灰柱石・斜ヒューム石・透輝石・金雲母・魚眼石などが観察できる	✧ ドロマイトスカルン鉱床 ✧ 石灰岩と花崗岩の接触によりできた鉱床
7	稲田【石切山脈】（笠間市）	➢ 花崗岩の採掘風景が観察できる	✧ 花崗岩「稲田石」の採石場（現在も操業中） ✧ 採掘跡に湧き水や雨水が溜まって湖のようになっていて「地図に無い湖」と呼ばれている ✧ 見学ツアーあり

学んで楽しむ

分類	名称	観られるもの	ポイント
1	日鉱記念館（日立市）	➢ 日立鉱山をはじめとする世界各地の鉱石 ➢ 鉱山で使われていた機器の展示	✧ 日立鉱山の跡地にある ✧ 日立鉱山の歴史や世界一の大煙突について学べる
2	石の百年館（笠間市）	➢ 稲田石についての展示 ➢ 国内各地の石材（御影石） ➢ 茨城県の鉱物	✧ JR 水戸線稲田駅に隣接 ✧ 国産の鉱物や稲田石の販売 ✧ 建物も稲田石でできている
3	雪入ふれあいの里公園ネーチャーセンター（かすみがうら市）	➢ 雪入産燐酸塩ペグマタイトの鉱物	✧ 公園は採石場跡地を利用している ✧ 雪入採石場跡地は、かつて採石中に珍しい燐酸塩鉱物が多く発見された場所 ✧ 燐酸塩ペグマタイトは世界でも貴重
4	産業技術総合研究所地質標本館（つくば市）	➢ 国内外の岩石・鉱物 ➢ 各都道府県の岩石・鉱物が展示されている	✧ 地質専門の博物館 ✧ 青柳鉱物標本を所蔵 ✧ 地球のメカニズムを学べる模型等も展示されている
5	ミュージアムパーク茨城自然博物館（坂東市）	➢ 国内外の岩石・鉱物 ➢ 県内の岩石・鉱物・化石 ➢ 関東ローム層の露頭 ➢ 蛍光鉱物	✧ 野外にも県内の岩石展示がある ✧ 南部小室鉱物標本を所蔵

採って楽しむ

分類	名称	採取できるもの	ポイント
1	久慈川（大子町・常陸大宮市）	自然金（砂金）・瑪瑙	✧ 砂金は、上流の栃原鉱山から流れてきたもの ✧ 瑪瑙は、ブラックライトで蛍光する
2	花園（北茨城市）	紅柱石・鉄電気石・方解石・ジルコン・白雲母・コランダム・燐灰ウラン石・鉄礬柘榴石・コルンブ石・ゼノタイム	✧ 石英、長石の鉱山の跡地 ✧ ペグマタイト鉱床 ✧ 変成岩の鉱物も採集可能
3	初崎海岸（日立市）	高温石英	✧ 砂岩中に高温石英が含まれている ✧ 砂岩は、海水浴場の海岸に転がっていて、貝化石も含む
4	大洗海岸（大洗町）	瑪瑙	✧ 久慈川から流れてきたもの ✧ 近くで礫岩の地層も観察できる
5	高取鉱山（城里町）	トパズ・蛍石・石英・鉄重石・錫石・白雲母・菱マンガン鉱	✧ タングステンや錫の鉱山の跡地 ✧ この鉱山は国内屈指のタングステン鉱山だった
6	山の尾（桜川市）	石英・カリ長石・緑柱石・鉄礬柘榴石・ゼノタイム・燐灰石・白雲母・ジルコン・モナズ石・サマルスキー石・コルンブ石・モナズ石・自然蒼鉛	✧ 珪石鉱山の跡地 ✧ ペグマタイト鉱床 ✧ 宝石のような鉄礬柘榴石や緑柱石が採れることもある

茨城県の産業を支えた鉱山（閉山）

分類	名称	採掘していたもの	ポイント
1	中郷炭鉱（北茨城市）	石炭	✧ 1971 年閉山 ✧ 近くの道から見ることができる
2	日永鉱山（大子町）	金・銀 アンチモン	✧ 戦時中はアンチモンを採っていた ✧ 山奥にあるが見学可能
3	栃原鉱山（大子町）	金・銀	✧ 操業；約 600 年前～1999 年 ✧ 本州最後の金山 ✧ 熱水鉱床、30g/t ✧ 近くの道から見ることができる
4	北富田鉱山（大子町）	瑪瑙	✧ 江戸時代は火打石として、明治時代は飾り石として瑪瑙を採っていた ✧ 1975 年閉山 ✧ 見学可能
5	櫛形炭鉱（日立市）	石炭	✧ 1973 年閉山 ✧ 茨城県内で最後まで操業していた ✧ ゴルフ場内に鉱山施設の跡がある
6	日立鉱山【赤沢鉱山】（日立市）	金・銅 硫化鉄 石灰岩	✧ 操業；1625～1981 年 ✧ 日本四大銅山の一つ ✧ キースラーガー鉱床から採石していた
7	日高鉱山（日立市）	硫化鉄 銅	✧ 1600 年頃佐竹氏（戦国武将）が発見 ✧ 1908 年から銅を採石していたが現在は閉山し、砂防ダムの底になった
8	大平田鉱山（日立市）	石灰岩	✧ セメント用に採石していた ✧ 2019 年閉山 ✧ 国内最後の鉱石専用索道があった ✧ 近くの道から見ることができる
9	木葉下鉱山（水戸市）	金・銀	✧ 安土桃山時代に佐竹氏によって金が採掘されていた坑道の跡 ✧ 30～40 の坑道がある ✧ 林道から見ることができる
10	加賀田鉱山（笠間市）	タングステン 銅	✧ 操業；1952 年～1957 年 ✧ 林道奥に鉱山設備が残っている

現在も操業中の鉱山・採石場

分類	名称	採掘しているもの	ポイント
1	石の倉鉱山（常陸太田市）	石灰岩 結晶質石灰岩	✧ 結晶質石灰岩の良質なものは「寒水石」として石材に利用される
2	上郷採石場（笠間市）	硬砂岩	✧ 建築用資材として利用される
3	稲田採石場（笠間市）	花崗岩	✧ 「稲田石」として石材に利用される
4	上城採石場（桜川市）	花崗岩	✧ 「羽黒青糠目石」として石材に利用される
5	加波山東側丁場（石岡市）	花崗岩	✧ 「八郷みかげ」として石材に利用される
6	富谷山（桜川市）	硬砂岩	✧ 建築用資材として利用される

まとめ

茨城県では、岩石や鉱物を採集したり、珍しい露頭や地層を観察したりできる場所は、県北部や筑波山周辺に多くある。

筑波山周辺では花崗岩類が石材として、山地部周辺では硬砂岩が建築用資材として現在も採掘されている。

県北部を中心した地方では 50 年程前までは多くの鉱山があったが、現在では大部分が閉山されている。鉱山跡は見学できないものもあるが、近くを通ることはできるので、かつては多くの鉱山があり県の産業を支えていたことに思いを馳せながら石巡りを楽しんでもらいたい。